

よみがえ

蘇ったイチョウの樹

火砕流によって小学校の校庭にあったイチョウの樹もいっしょに焼けてしまいました。しかし、この樹は次の年の春には鮮やかな緑の芽を吹いて、逞しい生命の力を見せ、長引く噴火で沈みきっていた人々の心を強く励ましてくれました。

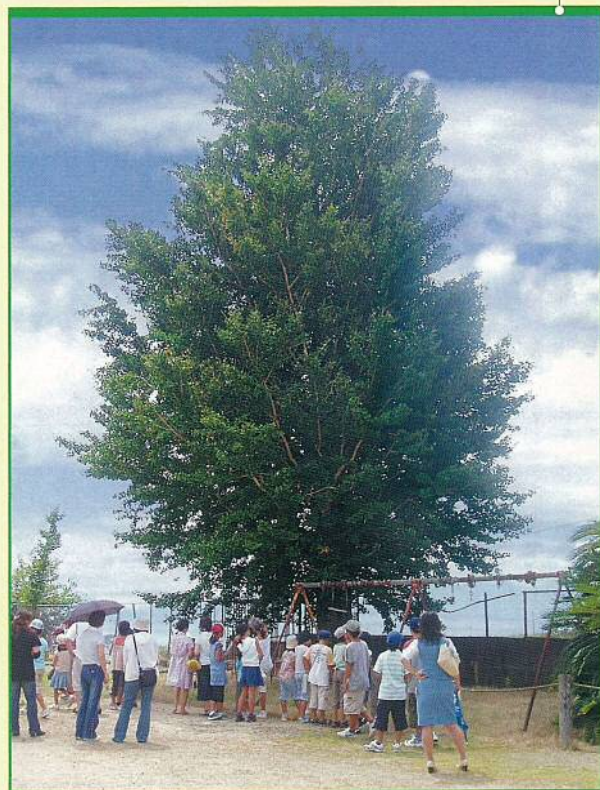


◀大野木場小学校の新校舎

(旧)大野木場小学校は火砕流で焼失しましたが、多くの関係者の努力で、少し南へ行ったところに新しい大野木場小学校の校舎が立派に再建されました。今では、子供達の元気な声が響いています。



▲被災後の(旧)大野木場小学校



ご利用案内

どなたでも自由にご覧になれます。どうぞお気軽にご来場ください。



アクセス



- 開館時間/9:00 ~ 16:30 (入館無料)
- 駐車場/大型車可 対応
- 休館日/毎週火曜日(祝日を除く)12月29日~1月3日
- 場 所/長崎県南島原市深江町・旧大野木場小学校よこ
- 所要時間/※島原外港より……車で約15分
※島原駅より……車で約20分

お問い合わせ先

大野木場砂防みらい館

〒859-1505 長崎県南島原市深江町2100-1
TEL.0957-72-2499 FAX.0957-72-5633

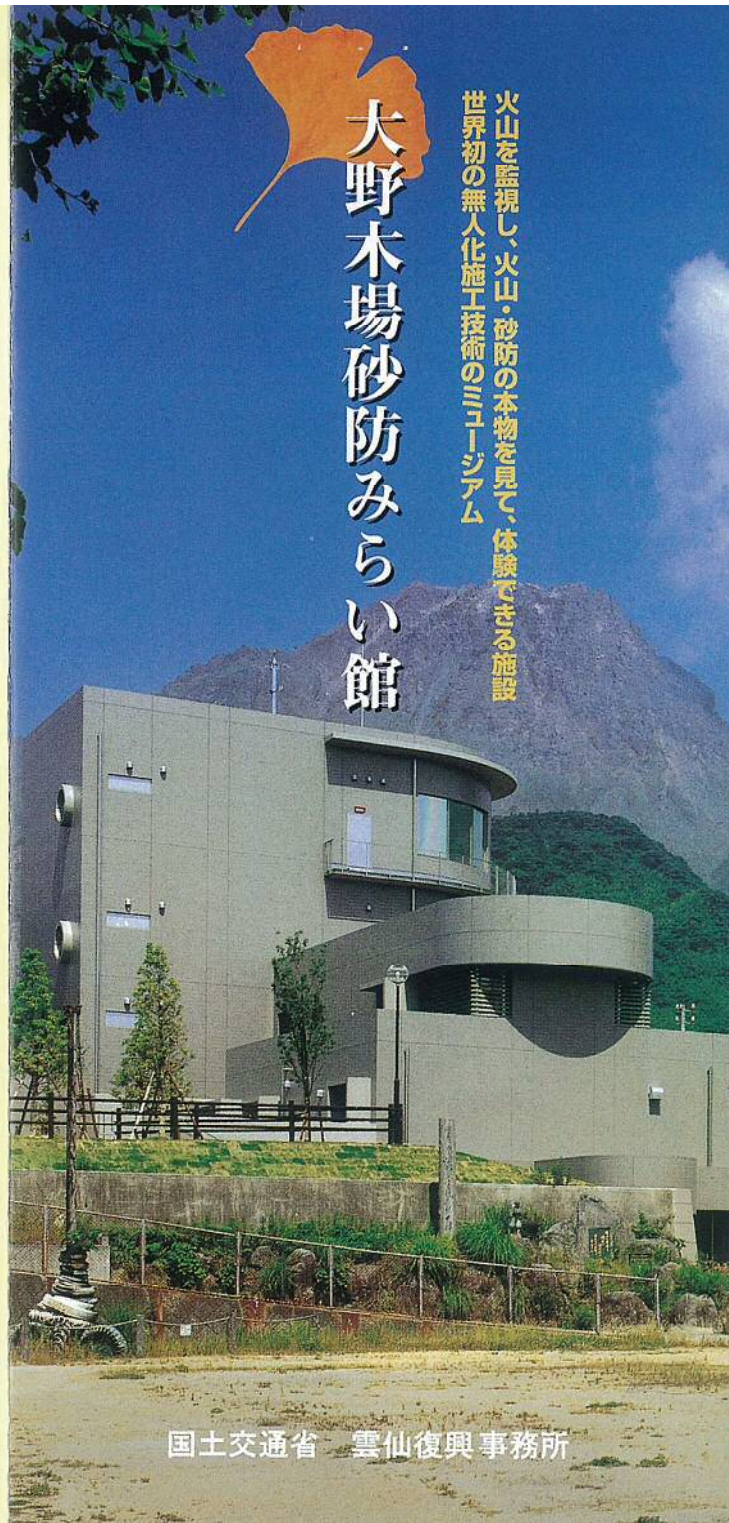
国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所 調査・品質確保課

〒855-0866 長崎県島原市南下川尻町7-4
TEL.0957-64-4171 (代表) FAX.0957-64-4127

http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/ E-mailアドレス:unzen@qsr.mlit.go.jp

大野木場砂防みらい館

火山を監視し、火山・砂防の本物を見て、体験できる施設
世界初の無人化施工技術のミニシアム



国土交通省 雲仙復興事務所

大野木場砂防みらい館の目的

雲仙・普賢岳の溶岩ドームは、噴火活動による火砕流の発生心配は無くなりましたが、依然として規模の大きな地震が発生した場合、大規模な崩落を起こす危険性が残っています。

今後、さらに上流域での砂防工事を実施していくことから、溶岩ドームから工事箇所までの距離が近くなり危険性がさらに高くなります。より一層の監視及び避難体制の強化を図り、工事従事者等の安全を確保するため、平成14年9月15日に大野木場砂防みらい館をオープンしました。



4つの機能

① 溶岩ドームの監視

溶岩ドームを地上4階より監視します。監視カメラの映像、地震計、雨量計の観測データを集中的に管理し、危険な場合にはサイレン、フラッシュライト等により工事従事者に避難指示を行います。また、水無川1号砂防堰堤の堆積状況も監視することができます。なお、一般の方の入室はできません。

③ 緊急時の無人化施工操作室の確保

砂防堰堤などに堆積した土砂を緊急的に除去する必要が生じた場合、地上3階より無人化施工機械を操作できます。

② 工事従事者の避難場所の確保

工事従事者などの避難場所を地下1階に確保します。防火扉を2重に設置するなど、避難室内の安全性を確保し、1日程度の避難が可能のように通信施設の整備や酸素などの備蓄を行っています。

④ 火山砂防の広報

平常時に避難スペースなどを有効活用し、噴火災害の脅威や砂防事業の重要性について本物を見て、本物を体験し、火山砂防を学習できます。

おののこばさほう

大野木場砂防みらい館で見ることができるもの

1. (旧) 大野木場小学校被災校舎

大野木場小学校は、1991(平成3)年9月15日に発生した火砕流によって焼失しました。この被災校舎をそのまま現地に保存してあります。

火砕流により一瞬で焼き尽くされた実物の校舎の内外の様子を見ることにより、自然の力の凄さを実感していただけるでしょう。



火山灰で覆われた校舎や体育館

1991(平成3)年9月18日撮影 (September 18, 1991)



焼き尽くされた教室。火砕流の恐ろしさを物語っています。

1992(平成4)年1月17日撮影 (January 17, 1992)

2. みらい館の展示と展望所

① 館内の展示

大野木場砂防みらい館の地下1階(B1)と1階(1F)では、雲仙普賢岳の噴火前の様子、噴火中の火砕流や土石流の様子、溶岩ドームの現在の状況などを分かり易く写真パネルや映像(ビデオ)で見ることができます。また、プレートテクト



ニクス理論に基づく火山噴火や地震についてのメカニズムを解説したコーナーも設けています。

◀1993(平成5)年5月3日撮影 (May 3, 1993)

② 展望所

3階は展望所になっており、普賢岳や火砕流の堆積状況など火山活動の実物を間近で見ることができます。

また、土石流を防止する砂防施設も間近で見ることができます。



普賢岳の様子が一望できます。

